

西浦線について

1 西浦線

沼津駅と西浦地区、戸田地区とを結ぶ路線として、木負止まり、江梨止まり、大瀬岬行き、戸田行きなど全部で10系統あります。大瀬岬までの運行距離34km、所要時間が約90分、戸田地区までは36.4km、大瀬岬同様、所要時間約90分、平日は往路15便、復路16便。

主に、朝夕に西浦小学校や長井崎中学校、市内高等学校へ通う児童生徒のほか、静浦小中一貫学校へ通う静浦地区の小中学生の利用も多くあり、移動手段を持たない子供や高齢者の方々に利用されています。

2 運行状況

年度	利用者数 (人)	経常経費 (千円)	経常収益 (千円)	経常欠損額 (千円)	市補助額※ (千円)	うち 県補助額 (千円)	収支率 (%)
29年度	193,643	95,896	64,706	▲31,190	38,386	16,430	67
30年度	185,748	96,645	58,927	▲37,718	32,110	13,580	61
元年度(見込)	191,667	97,662	70,438	▲27,224	38,698	16,610	72

※市補助額は、算出方法により当年度の経常欠損額とは一致しません。

3 令和2年度の運行計画

令和2年度の運行については現行と変更はありません。今後も利用状況を踏まえながら、路線の整理や他路線との接続に考慮したダイヤ設定などを検討し、効率的な運行と利便性の向上に努めます。

年度	実車走行 キロ(km)	運行日数 (日)	経常経費 (千円)	経常収益 (千円)	経常欠損額 (千円)	収支率 (%)
2年度(計画)	283,450.5	365	97,031	70,438	▲26,593	72

戸田・土肥線の運行について

1 概要

沼津市の戸田地区と伊豆市の土肥地区を結ぶ戸田・土肥線は、平成31年4月1日から利用に応じた運行とするため、車両を10人乗りのジャンボタクシーに切り替え、運行本数を4.5往復から3往復に変更、運行を戸田交通株式会社に委託し、市は欠損額を補助しています。

運行距離19.8km、所要時間30分、毎日運行しています。

2 利用状況

●1日の利用者は約6人。(年間見込み2,244人、1便あたり1人)

平成30年度は年間3,833人、1便あたり1.3人

●第1便と第3便は伊豆総合高等学校土肥分校生や戸田・土肥相互の通勤者が利用、第2便は主に地区内移動の際に利用されている。

(参考)令和元年4月～12月の便ごと利用者数

	戸田新田→土肥温泉(下り)				土肥温泉→戸田新田(上り)			
便	1便	2便	3便	計	1便	2便	3便	計
人	421	272	210	903	229	108	443	780

3 収支状況

株式会社新東海バスから戸田交通株式会社に運行が切り替わったことによるキロ当たり単価の減少と、便数の減少により運行経費が減少し、欠損額が減となる見込みです。

年度	利用者数(人)	経常経費(千円)	経常収益(千円)	経常欠損額(千円)	市補助額※(千円)	うち県補助額(千円)	収支率(%)
29年度	3,833	16,868	1,808	▲15,060	15,350	3,832	11
30年度	3,833	18,036	2,357	▲15,679	13,348	3,794	13
令和元年度(見込)	2,244	9,540	1,512	▲8,028	9,569	4,058	16

※市補助額は、算出方法により当年度の経常欠損額とは一致しません。

4 令和2年度の運行計画

令和2年度の運行につきまして、若干のダイヤ修正はありますが、現行のとおり3便での運行を予定しております。

【現行ダイヤ】

	戸田新田発	土肥温泉着		土肥温泉発	戸田新田着
第1便	6:55	7:25		7:25	7:55
第2便	11:25	11:55		11:55	12:25
第3便	17:15	17:45		17:45	18:15

【令和2年度ダイヤ(案)】

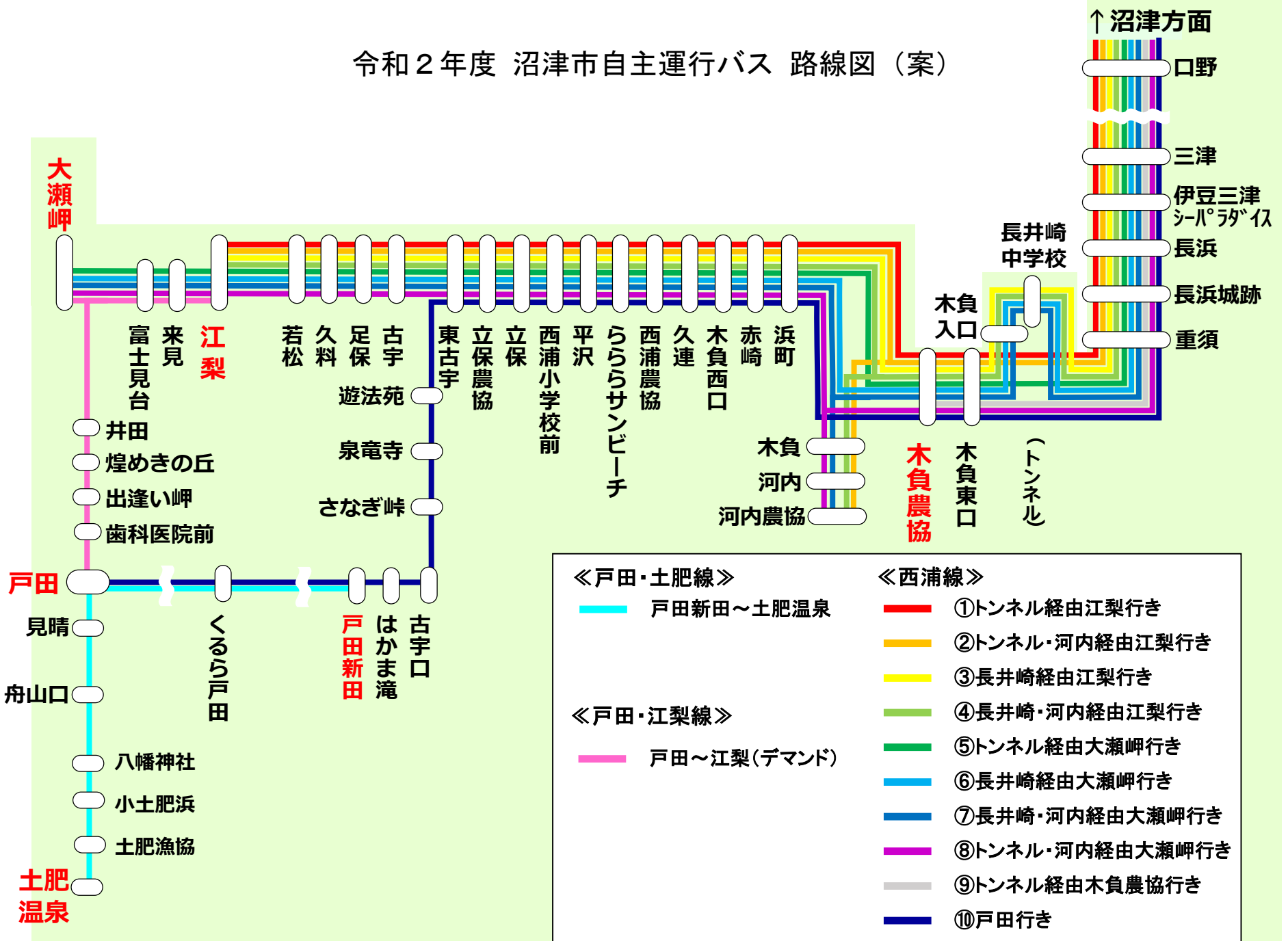
	戸田新田発	土肥温泉着		土肥温泉発	戸田新田着
第1便	6:50	7:20		7:20	7:50
第2便	11:20	11:50		12:00	12:30
第3便	17:20	17:50		17:50	18:20

【運行計画】

年度	実車走行 キロ(km)	運行日数 (日)	経常経費 (千円)	経常収益 (千円)	経常欠損額 (千円)	収支率 (%)
令和2年度 (計画)	43,362	365	9,514	1,512	▲8,002	16



令和2年度 沼津市自主運行バス 路線図 (案)



西浦線 (10系統31便)

青字が自主運行便
丸数字は上記系統に対応
※は土日祝運休

黒斜字は事業者路線便

時刻	沼津駅発			
	江梨行	大瀬行	木負行	戸田行
6		⑦6:35※		
7			⑨7:15	
8			⑨8:25	
			⑨8:55	
9	①9:25		⑨9:55	
10		⑤10:25		
11			⑨11:25	
			⑨11:55	
12	①12:25		⑨12:55	
13	①13:25		⑨13:55	
14	③14:25		⑨14:55	
15	③15:30		⑨15:55	
16		⑥16:25	⑨16:55	
17	③17:25 ③17:55※			
18				⑩18:20
19	①19:25			
20	①20:25			

時刻	沼津駅行き			
	江梨発	大瀬発	木負発	戸田発
6	③6:29			⑩6:35
7	③7:05※ ①7:24			
8		⑤8:14	⑨8:21	
9	①9:29		⑨9:21	
10	①10:59		⑨10:21 ⑨10:51	
11				
12		⑧12:09	⑨12:21	
13	②13:54		⑨13:21 ⑨13:51	
14	②14:54		⑨14:51	
15	④15:45		⑨15:51	
16	③16:55		⑨16:51	
17			⑨17:51	
18		⑥18:15※		

戸田・土肥線 (6便)

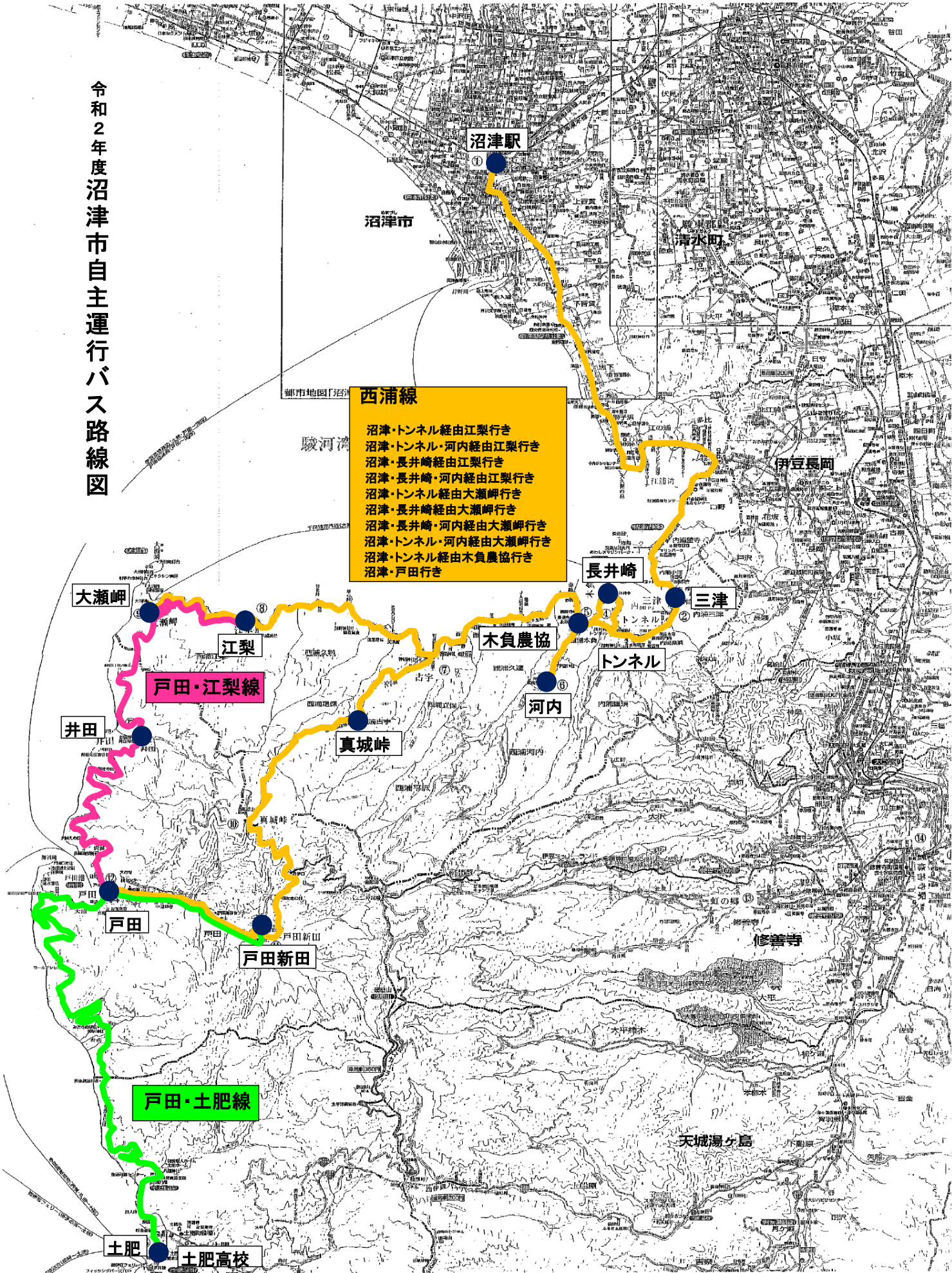
便数	土肥温泉行き	
	戸田新田発	土肥温泉着
1	6:50	7:20
2	11:20	11:50
3	17:20	17:50

便数	戸田新田行き	
	土肥温泉発	戸田新田着
1	7:20	7:50
2	12:00	12:30
3	17:50	18:20

戸田・江梨線 (デマンド12便)

便数	江梨行き		便数	戸田行き	
	戸田発	江梨着		江梨発	戸田着
1	7:55	8:21	1	8:21	8:47
2	9:00	9:26	2	9:26	9:52
3	10:20	10:46	3	10:46	11:12
4	11:45	12:11	4	12:11	12:37
5	14:20	14:46	5	14:46	15:12
6	16:15	16:41	6	16:41	17:07

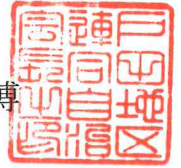
令和2年度沼津市自主運行バス路線図



令和元年11月27日

沼津市長 頼重秀一 様

戸田地区連合自治会長 青木好博



公共交通体系の充実について（要望）

日頃は、戸田地区の振興にご尽力ください誠にありがとうございます。

特に、戸田地区の公共交通の維持・確保におきましては、格別なるご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

この公共交通は、戸田地区の生活に必要な不可欠であるばかりでなく、地域住民の高齢化に伴い、路線バスや乗合タクシーの維持・存続は益々重要なものになってきております。

このような状況下、戸田地区連合自治会におきましては、地域内の公共交通手段の現状やあり方について検討した結果、より高度な利便性を図っていくため、次の路線の新設や増便について、要望することいたしました。

つきましては、戸田地区の生活水準の向上や市中心部との格差是正のためにも、是非ともご検討くださるようお願い申し上げます。

1 地区内循環乗合タクシーの新設について

道の駅くるら戸田は、市民窓口事務所、観光案内、温泉施設、道の駅及び地区センターから構成されており、情報発信拠点、交流活動拠点、行政機能拠点となっている。このくるら戸田を核として、高齢者の買い物支援や戸田診療所への通院、地区センターでのイベントや老人の居場所づくり等に参加する戸田地区市民の交通手段として、また戸田地区内の自然、歴史、文化及び海・山の幸を体験するため観光客にも対応し、バス停もなくどこでも乗り降りできて、地区内を巡回する地区内循環乗合タクシーの新設を要望いたします。

2 乗合タクシー（戸田・土肥線）の増便について

平成31年4月、沼津市自主運行バスから乗合タクシーに変更されると共に、1日4.5便から3便に減便されました。変更後の運行状況を見ますと、昼の時間帯の運行がなくなったことにより、高校生のテスト期、



間中の短縮授業や歯科医等病院に通う交通手段がなくなってしまいました。

つきましては、以上の状況を十分踏まえ、1日4便にさせていただきたく要望いたします。

3 予約制乗合タクシー（戸田・江梨線）の増便について

予約制乗合タクシー（戸田・江梨線）は、現在6便で運行しています。新たに戸田発17：10（井田経由）江梨折り返し、戸田着18：10の第7便を増便することにより、通院や買い物に利用する人達にとっては、大きく利便性が増すことから第7便の運行を要望いたします。

地区内循環乗合タクシーの新設について

道の駅くるら戸田は、市民窓口事務所、観光案内、温泉施設、道の駅及び地区センターから構成されており、情報発信拠点、交流活動拠点、行政機能拠点となっている。このくるら戸田を核として、高齢者の買い物支援や戸田診療所への通院、地区センターでのイベントや老人の居場所づくり等に参加する戸田地区市民の交通手段として、また戸田地区内の自然、歴史、文化及び海・山の幸を体験するため観光客にも対応し、バス停もなくどこでも乗り降りできて、地区内を巡回する地区内循環乗合タクシーの新設を要望いたします。

循環図 道の駅くるら戸田（壺の湯、地区センター、市民窓口） ➡ 戸田診療所、セイジョウ戸田店、中央棧橋、松城邸 ➡ 出逢い岬 ➡ 御浜岬（海水浴場、博物館、東大戸田寮、深海生物館、諸口神社） ➡ 御浜のホテル地（いさば、今宵） ➡ 造船記念碑、漁協直売所、勝呂家、宝泉寺 ➡ 部田神社 ➡ 北山棚田 ➡ ➡ ➡ （壺の温利用客、居場所づくり老人、買い物支援等） ➡ ➡ ➡ ➡ 道の駅くるら戸田